

東京学芸大学「学芸の森が育てる女性の力」

東京学芸大学は、平成 18 年 4 月に男女共同参画推進本部を設置し、本学の基本理念・基本方針を作成し、男女がともに輝く大学づくりをめざして、次世代育成支援推進の取り組み、フォーラム開催やニューズレターの発行といった広報活動の推進、OPGE 助成金による研究活動の活性化、実態把握調査に基づく白書の発行など様々な活動を行い、学内保育園の開園など一定の成果を上げてきた。

平成 23 年度に科学技術人材育成費補助事業・女性研究者研究活動支援事業に採択されてからは、男女共同参画支援室を設置し、男女共同参画および女性研究者研究活動支援事業を加速させた。

【平成 23 年度～25 年度の取組内容と主な成果】

1. 女性教員在職比率引き上げのためのポジティブ・アクション
 - ①公募要項に「資質・能力が同等の場合に女性を積極採用する」旨の文言記載
 - ②女性教員比率 10%達成講座に研究補助員を配置する制度：1 講座が該当・実施
 - ③女性学長及び男女共同参画推進本部長による各部局への働きかけや男女共同参画フォーラム実施等を通じた学内の理解促進
⇒女性教授 [H23 15.0%→H25 16.6%] 准教授 [H23 23.0%→H25 26.3%] 講師 [H23 46.9%→H25 46.4%]
女性教員 10%未満講座数 [H23 6/16 講座→H25 3/17 講座]
2. 両立支援／環境整備
 - ①育児・介護支援研究補助員制度：利用教員 10 名、雇用補助員 29 名
 - ②相談サービス／メンター制度：支援室に専任カウンセラー配置、メンター登録者 31 名
 - ③競争的資金獲得支援：科研費相談会の共催実施、調書添削のためのメンター制度実施
 - ④ネットワーク形成：女性教員の会、子育て交流会の開催
 - ⑤保育支援：育児クーポン・病後児保育補助、センター試験時託児実施
 - ⑥環境整備：学外での電子ジャーナル閲覧や成績入力のためのシステム整備開始、産前休暇延長、夜間授業免除・子の看護休暇の対象年齢引き上げが実現、風疹ワクチン接種費用補助
⇒研究業績維持（研究補助員利用：平均論文数 1.6/平均業績点 4.1）、国際学会発表、外部資金獲得
科研費新規応募率 [H23 31.9%→H26 36.8%] / 新規採択率 [H23 45.5%→H26 60.7%]
3. 意識啓発
 - ①男女共同参画フォーラム：毎年 2 回実施（FD 研修認定）
 - ②調査／報告：白書の隔年発行、学内の男女共同参画に関する意識調査実施及び報告書作成
 - ③広報：年 4 回のニューズレター発行（全学配布）、支援室ホームページ開設
 - ④授業：全学学生対象の 2 科目（ジェンダー関連／自然科学系分野への意識啓発）を開講
 - ⑤附属学校での取組：附属小・中・高校の初任者を対象とした意識啓発講習を実施
 - ⑥書籍貸出：支援室で男女共同参画・ジェンダー関連書籍の閲覧・貸出サービス開始
⇒取組の周知・利用拡大、理解促進
4. 裾野拡大
 - ①女子学生比率 30%達成教室に授業補助員配置する制度：1 教室が該当・実施
 - ②キャリア支援：OG 研究者との交流会、高専機構との共催ガイダンス実施
 - ③研究支援：女子大学院生を対象とした学術論文投稿支援制度実施
 - ④理数系進路選択支援：オープンキャンパスにおいて理数系ミニ講演会及び理系女子学生との相談・交流企画を実施
 - ⑤調査／報告：理系・文系進路選択に関するアンケート調査及び報告書作成
 - ⑥学生の参画：男女共同参画を学生の立場で推進する学生サポーター制度を設立
 - ⑦環境整備：柔道場の女子トイレ改築
⇒女子大学院生の博士課程進学率 [H23 1.9%→H25 6.5%]、女子学生比率 30%未満教室 [H23 9 教室→H25 8 教室]

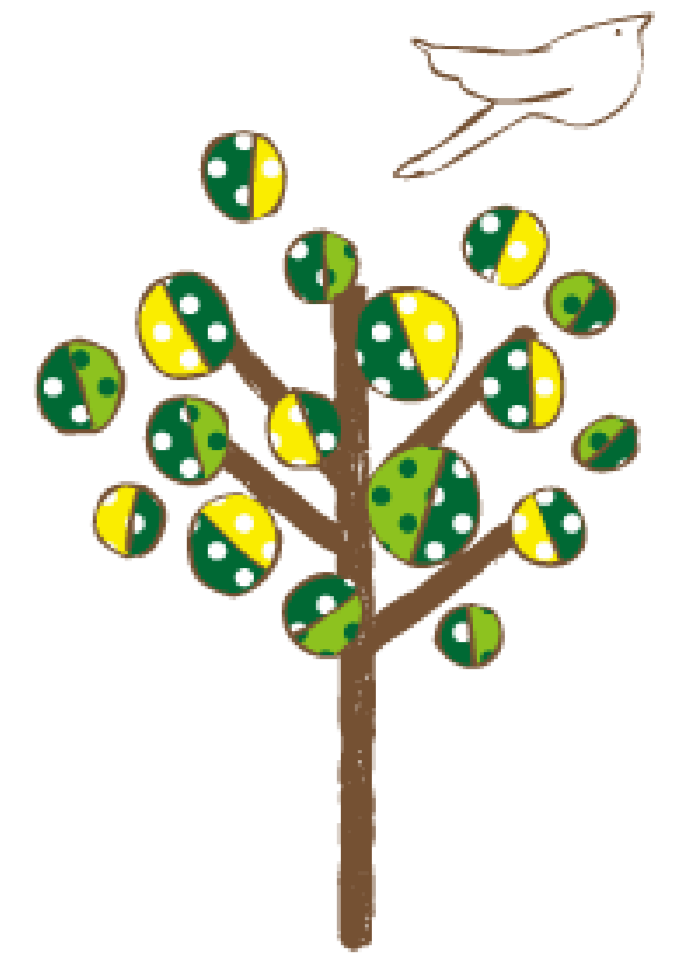
【平成 26 年度の状況】

事業終了後も支援室を引き続き男女共同参画推進本部の下に設置し、コーディネーター・カウンセラー・事務補佐員を配置した。推進本部は「両立支援」「意識啓発」「裾野拡大」の 3 つの分野でワーキンググループを構成し、すべての教職員にとって男女共同参画が実現するよう取組を進めている。また、本学の中期目標・中期計画において、男女共同参画を明記するよう働きかけを行っている。

【連絡先】 東京学芸大学 男女共同参画推進本部・男女共同参画支援室
TEL: 042-329-7894 FAX: 042-329-7894 E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp
URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/support/>



東京学芸大学 学芸の森が育てる女性の力 — 男女が輝く未来へ —



平成23年度～25年度の成果

*赤字は目標値達成、緑字は数値改善

女性教員比率 H23:20.6% ⇒H25:22.6%	教授(目標20%) H23:15.0%⇒H25:16.6% 准教授(目標25%) H23:23.0%⇒H25:26.3% 講師(目標50%) H23:46.9%⇒H25:46.4%	女性教員10%未満講座数(目標0講座) H23:16講座中6講座 ⇒H25:17講座中3講座	育児・介護支援研究補助員制度 利用教員10名の平均論文数1.6、平均業績点4.1 育児・介護と研究が両立	科研費新規応募 H23:31.9%⇒H26:36.8% 科研費新規採択率(目標+10%) H23:45.5%⇒H26:60.7%	女子学生30%未満教室(目標0教室) H23:9教室⇒H25:8教室 女子大学院生博士課程進学率 H23:1.9%⇒H25:6.5%
--	--	---	--	---	---

平成26年度～

事業終了後も目標値達成に向け、男女共同参画推進本部・支援室で3分野の事業を行う

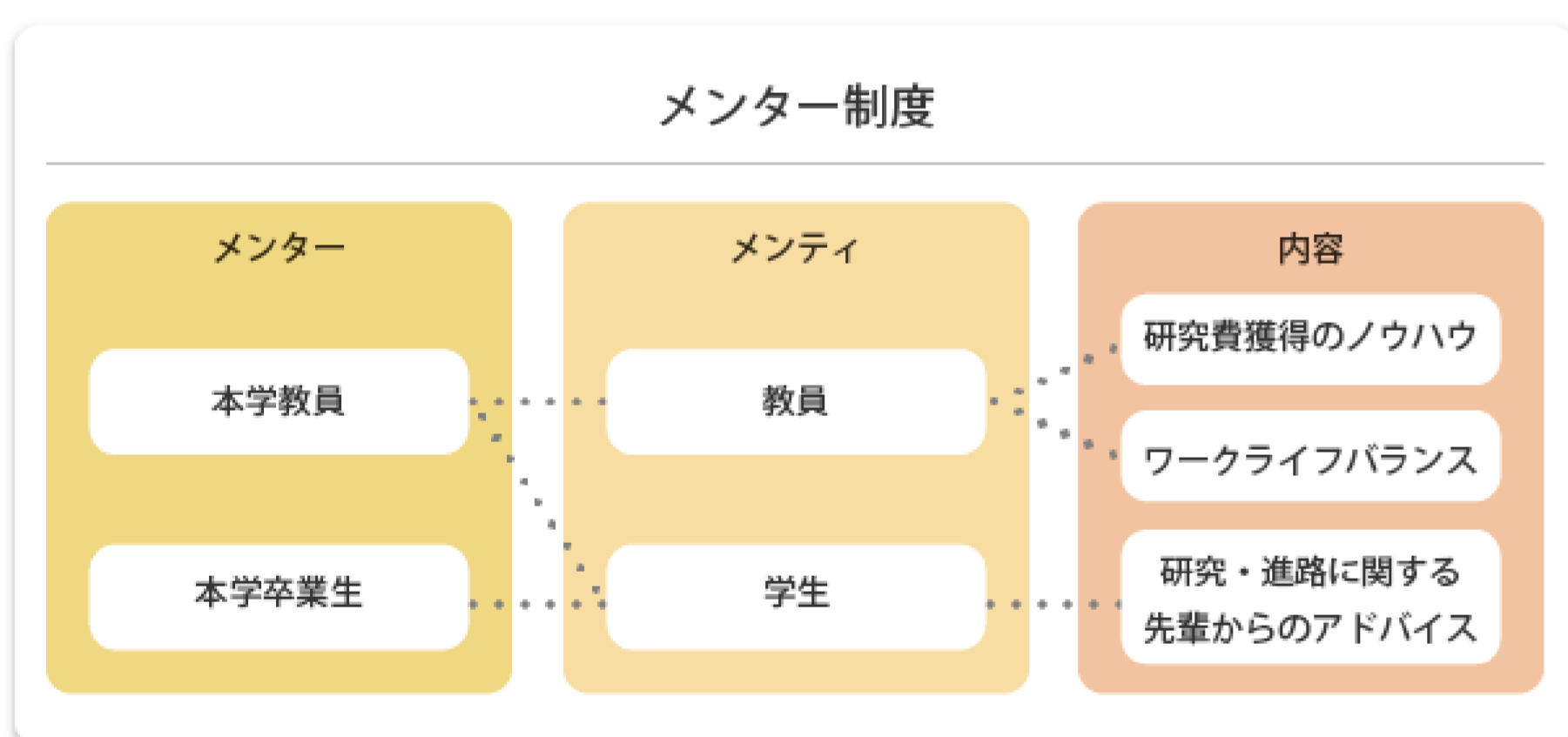
ポジティブ・アクション

*公募要項に「女性の積極採用」の文言記載

職員支援・附属学校教員支援の充実を検討し、全教職員のための男女共同参画推進を目指す

両立支援・環境整備

*メンター制度



- *カウンセラーによる相談サービス
- *育児・介護支援研究補助員制度
- *競争的資金獲得支援
- *教職員交流会
- *子育て交流会
- *育児クーポン／病児保育利用補助制度
- *子育て期にある大学教員のための夜間授業担当免除制度
- *環境整備・勤務条件改善のための要望書提出

意識啓発

- *男女共同参画フォーラム(年2回)
- *調査／報告(男女共同参画推進計画に関する調査、白書発行)
- *ニューズレターOPGE通信(年3回)
- *ホームページの運用
- *全学学生対象の授業開講(ジェンダー関連科目／理数系分野への意識啓発科目)
- *関連書籍の貸出サービス
- *附属学校初任者を対象とした意識啓発講習



裾野拡大

- *キャリア支援(OG研究者との交流会)
- *女子大学院生のための論文投稿支援制度
- *オープンキャンパス特別企画(理数系ミニ講演・理系女子学生交流ブース)
- *学生サポーター制度
- *内閣府男女共同参画局「チャレンジ・キャンペーン」登録

